

公開講座の開催に向けて

1. 公開講座の趣旨

- ・ 流域（流域連携、流域住民、流域圏懇談会）に関する・つながるテーマで実施する。
- ・ そのため流域の視点から見た講演トピックの位置づけやストーリーを見据えた内容にする必要がある。

2. 部会連携調整(6/27)における話し合いについて

- ・ 流域治水における俯瞰的な視野を持っている方に流域全体のお話をいただき、その後農業や防災など個別のテーマの話ができる方に講演いただいております（全1回とする）。
- ・ 流域というテーマでは、富山和子氏が適任だと思われる。

3. 講師の候補

<第一候補：富山和子(とみやまかずこ)氏>

経歴など：ジャーナリストを経て環境問題評論家、立正大学名誉教授

環境問題の草分けで、水問題を森林の問題にまで深めたこと、「水田はダム」との理論を提起したことでも知られる。

選定理由：水系を通じた人と自然の繋がりについて、自然科学、社会科学の両面から捉え、流域に対する広い視野を持っている。農地・農業と防災の両分野を網羅した講演が期待できる。

状況： 沖様が出版社を通じてコンタクトを図っている。

<第二候補：神田浩史(かんだひろし)氏>

経歴など：NPO 法人泉京・垂井 副代表理事 農業土木を専攻し、ODA の農地開発事業に従事後、流域に関わる NPO・NGO を中心に講演などを行っている。

また「流域単位の循環型社会の再構築」の実現に向けたまちづくりなどを行っている。

選定理由：富山氏と同じく流域について俯瞰的な視野をもっている方で、環境・水・川と人の営みの繋がりについて造詣が深い。

状況： 三ッ松様が連絡を取っている。10～12 月であれば講演できると回答いただいている。

(裏面に続く)

4. 役割分担

4.1 事前準備

- ・ 事前の勉強会 担当：
- ・ 講師との調整、やりとり 担当：
- ・ チラシの作成、告知 担当：

4.2 公開講座当日

- ・ 司会 担当：
- ・ 開会挨拶、趣旨説明 担当：光岡座長
- ・ パネリスト 担当：
- ・ 会場設営・補佐 担当：

◆参考 R3 公開講座

- ・ 司会： 近藤様、松沢様、青木座長
- ・ 開会挨拶、趣旨説明： 光岡座長、鈴木輝明副座長

5. スケジュール

- ・ 11月の中間報告会で活動報告ができる日程が望ましい。

以 上